

胃がん検診におけるヒヤリ・ハットへの対応について

財) 福島県保健衛生協会

○鳴原 幹直 亀山 欣之 相澤 祐司
佐藤 孝之 有松 忍 茂木 俊一
阿部 雅浩 橋本 元秀 油井 克広
本田 修 赤沼 弘勝 鈴木 美保子

はじめに

当協会の平成 21 年度に実施した胃がん検診受診者数は約 10 万 9 千人であり、ヒヤリ・ハット報告件数は 22 件であった。これは、約 5 千人に一人の割合にあたるが、過去には重篤な事例も含まれており軽視は出来ない。現在、事故防止マニュアルを作成して対策を講じているが、ヒューマンエラー等の要因も重なり、ヒヤリ・ハットを未然に防ぐことは困難な現状にある。

今回、胃がん検診ヒヤリ・ハット事例に関する報告を事例内容別に分けて述べるとともに、受診者への不利益に対する取り組み方、また、事故を未然に防ぐための対策について検討したので報告する。

対 象

平成 15 年 4 月から平成 21 年 3 月に胃がん検診のため当施設を受診した 860,167 名中（男性：437,492 名、女性：422,675 名）、ヒヤリ・ハット報告事例 283 例を対象とした。

方法

この対象を、バリウム誤嚥、バリウムの副作用、発泡剤の副作用、ローリングによる擦過傷の 4 項目に分け、それぞれについて、年度、年齢、性別に分けて、ヒヤリ・ハットが発生しやすい要因、対応、そして対策について検討した。

結果

対象事例 283 例中バリウム誤嚥 265 例、バリウム副作用 7 例、発泡剤の副作用 8 例、ローリングによる擦過傷 3 例であった。年度別ヒヤリ・ハット事例内訳で最も多い項目は、図 1 に示したごとく、バリウム誤嚥が事例全体の 93.6% を占めていた。また、年次的推移をみると、バリウム誤嚥が H17 年度に大きく減少し、以後、毎年 20 例前後の変動であった。次に、性別/年齢別ヒヤリ・ハット事例内訳では、表 1 に示すように 60 歳以上の男性が事例全体の 60.1% を占め、男性ヒヤリ・

ハット事例全体でも 72.4% と高率を占めていた。男性の事例数が最も多かったのは 70~79 歳であったが、ヒヤリ・ハット発生率では 80 歳以上が最大の 0.45 という高値を示していた。女性は 50~59 歳、70~79 歳で事例数が多く、事例全体の 16.3% を占めており、女性ヒヤリ・ハット事例全体では 59.0% と高率を示していた。また、女性のヒヤリ・ハット事例数が最も多かったのは 70~79 歳であったが、ヒヤリ・ハット発生率は 80 歳以上で最大の 0.12 という高値を示していた。

考 察

今回の検討結果によって、表 2 に示したごとく、ヒヤリ・ハットが発生しやすい要因がある程度明らかになった。これらは今後、検診実施にあたり十分注意を要する事項であるので、撮影技師及び介添え看護師に周知徹底させたい。また、平成 17 年度にバリウムの誤嚥件数が急減した要因としては、それまで使用していたバリウム容器を紙コップに変更したことによってバリウムが飲みやすくなり誤嚥が減少したと考えられる。

ヒヤリ・ハットが発生した場合に備えて、医療安全を体制強化する必要があると思われた。まず、内部での取り組みによって改善できることとして、業務マニュアルに沿ってその遂行がなされているか否かの確認リストの作成、リスクマネージャー会議等の事故分析を行う安全管理対策委員会の設置、事例検討会開催等による情報の共有化などが挙げられた。一方、受診者に対しては、検査案内を記載したパンフレットを作成して事前に配布する、インフォームド・コンセントの導入、ヒヤリ・ハット防止に向けての詳細な事例解析と情報の一元化を行うことなどが、受診者へのサービス向上、さらには、ヒヤリ・ハット事例の低減に繋がっていくものと考え

表 1 性別/年齢別受診者数とヒヤリ・ハット事例数

| 年齢 | 性別 | 受診者数 | ヒヤリ・ハット事例数 | ヒヤリ・ハット発生率(%) |
|---------|----|---------|------------|---------------|
| 40 歳未満 | 男性 | 57,289 | 16 | 0.03 |
| | 女性 | 36,203 | 6 | 0.02 |
| 40～49 歳 | 男性 | 91,948 | 12 | 0.01 |
| | 女性 | 76,560 | 2 | 0.003 |
| 50～59 歳 | 男性 | 112,390 | 7 | 0.01 |
| | 女性 | 106,443 | 20 | 0.02 |
| 60～69 歳 | 男性 | 93,037 | 41 | 0.04 |
| | 女性 | 109,559 | 11 | 0.01 |
| 70～79 歳 | 男性 | 70,498 | 73 | 0.1 |
| | 女性 | 83,180 | 26 | 0.03 |
| 80 歳以上 | 男性 | 12,380 | 56 | 0.45 |
| | 女性 | 10,730 | 13 | 0.12 |

表 2 ヒヤリ・ハット事例 分類結果(283 例)

| 事例 | 多かった事例の年齢層 | 事例数(例) |
|-------------|------------|--------|
| バリウム誤嚥 | 80 歳以上男性 | 265 |
| バリウム副作用 | 50～79 歳女性 | 7 |
| 発泡剤副作用 | 60～69 歳女性 | 8 |
| ローリングによる擦過傷 | 70～89 歳男性 | 3 |

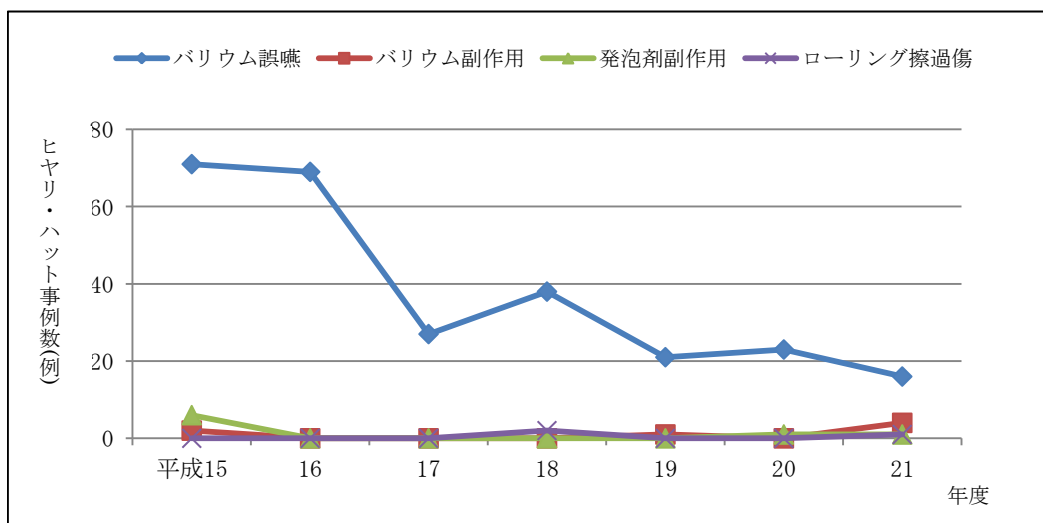


図 1 年度別ヒヤリ・ハット事例の内訳と推移